

回覧

高齢者各位

神山町長 河野 雅俊

高齢者インフルエンザ予防接種の実施について（通知）

インフルエンザは、普通の風邪に比べて感染力が強く、高熱が出るなど症状も重く、また気管支炎や肺炎などを合併して重症化しやすいのが特徴です。インフルエンザの発病・重症化を防ぐ目的で次のとおり予防接種を実施しますので、ご希望の方は接種医に相談のうえ接種してください。

1. 対 象 者 神山町に住所を有する 6 5 歳以上の者及び 6 0 歳以上 6 5 歳未満の者であって心臓、じん臓又は呼吸器の機能に自己の身近の日常生活活動が極度に制限される程度の障がい有する方及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がい有する方

2. 実施内容

実施期限	令和 8 年 1 月 1 5 日まで
医療機関	徳島県内の広域委託医療機関で接種できます。（町内医療機関も含みます。） ※委託医療機関につきましては健康福祉課までお問い合わせください
接種回数	1 回
自己負担金	1, 6 0 0 円 ※ただし、生活保護世帯の方は無料
申し込み等	感染症予防のため、希望される医療機関に電話でお問い合わせください。
持参物	保険証、健康手帳及び自己負担金、予診票（町外医療機関で接種の場合）

3. 注意事項

- （1）神山町外で接種を希望される方は、役場本庁、広野支所及び各公民館にある予診票を受け取り、医療機関に持参してください。
- （2）実施期間等は厳守してください。（期間外接種及び委託医療機関外接種の場合は全額自己負担となります。）
- （3）裏面の説明書（インフルエンザ予防接種を受ける方へ）をよく読んで、予防接種についてご理解してください。
- （4）他の予防接種との間隔は接種医にご相談ください。
（裏面をごらんください）

インフルエンザ予防接種を受ける方へ

【インフルエンザとは】



A型又はB型インフルエンザウイルスの感染を受けてから、1～3日間ほどの潜伏期間の後に、発熱（通常38度以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛が突然あらわれ、咳、鼻水などの上気道炎症状がこれに続き、約1週間の経過で軽快します。普通のかぜに比べて全身症状が強く、特に高齢者は気管支炎や肺炎などを合併し重症化することが多いのが特徴です。予防の基本は、流行前に予防接種を受けることです。65歳以上の方で1シーズン1回の予防接種をすることで34～55%の発病を阻止し、82%の死亡を阻止する効果があります。

【予防接種を受けることができない人】

①発熱（体温が37.5℃以上）のある人②重篤な急性疾患にかかっている人③インフルエンザ予防接種に含まれる成分によって、ひどいアレルギー反応を起こしたことがある人④過去の予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた人や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある人⑤その他、医師が接種不相当と判断された人

【インフルエンザ予防接種の副反応】

予防接種の注射の跡が、赤みを帯びたり、はれたり、痛みを伴ったりすることがありますが通常2～3日のうちに治ります。また、わずかながら熱がでたり、寒気がしたり頭痛、全身のだるさなどがみられることもありますが、通常2～3日のうちに治ります。まれにショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫等）があらわれることがあり、そのほとんどは接種後30分以内に生じるか、まれに接種後4時間以内に起こることもあります。その他、ギラン・バレー症候群、けいれん、急性散在性、脳症、脊髄炎、視神経炎、肝機能障害、黄疸、喘息発作、急性汎発性発疹性膿疱症があらわれたとの報告があります。副反応と思われる症状が出た場合は接種した医師（医療機関）の診療を受けてください。

【予防接種被害被害救済制度について】

予防接種により、予知できない重篤な副反応や後遺症がまれに起こりうる場合があります。予防接種による健康被害が起こり、厚生労働大臣が認定した場合、健康被害に対する給付を行う制度があります。（医療費・障害年金・遺族年金等の補償）

※B類疾病予防接種ガイドラインを参考にしています。

※予診票は接種する医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。

基本的には、接種を受けるご本人が責任をもって記入し、正しい情報を医師に伝えてください。

お問い合わせ： 神山町健康福祉課予防係 電話 676-1114

神健第740号
令和7年10月15日

高齢者各位

神山町長 河野 雅俊

高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種の実施について（通知）

新型コロナウイルス感染症の発病・重症化を防ぐ目的で次のとおり予防接種を実施しますので、ご希望の方は接種医に相談のうえ接種してください。

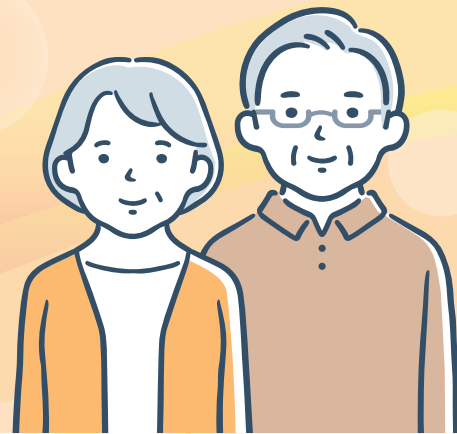
1. 対象者 神山町に住所を有する65歳以上の者及び60歳以上65歳未満の者であって心臓、じん臓又は呼吸器の機能に自己の身近の日常生活活動が極度に制限される程度の障がい有する方及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がい有する方
2. 実施内容

実施期限	令和8年3月31日まで
医療機関	徳島県内の広域委託医療機関で接種できます。（町内医療機関含む。）※委託医療機関につきましては健康福祉課までお問い合わせください
接種回数	1回
自己負担金	町内医療機関 2,000円 県内医療機関 4,000円 ※ただし、生活保護世帯の方は無料
申し込み等	感染症予防のため、希望される医療機関に電話でお問い合わせください。
持参物	保険証、健康手帳及び自己負担金、予診票（町外医療機関で接種の場合）

3. 注意事項

- （1）神山町外で接種を希望される方は、役場本庁、広野支所及び各公民館にある予診票を受け取り、医療機関に持参してください。
- （2）実施期間等は厳守してください。（期間外接種及び委託医療機関外接種の場合は全額自己負担となります。）
- （3）添付の説明書をよく読んで、予防接種についてご理解ください。
- （4）他の予防接種との間隔は接種医にご相談ください。

65歳以上の方などを対象に 新型コロナウイルスワクチンの 定期接種を実施しています。



新型コロナウイルス感染症とワクチンについて

- 新型コロナウイルスによって重症化する割合は、65歳以上の年代で高いため、この年代の方を対象に、10月から定期接種を実施しています。
- 感染者で多く検出されているNB.1.8.1(ニンバス株)にも効果が期待されることが報告されています。
- 研究や調査方法の違いにより差があるものの、高齢者における新型コロナウイルス感染症の重症化リスクはインフルエンザと同等かそれ以上という報告があります。
出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001144459.pdf>
- 2024年の新型コロナによる死亡数は約36,000人であり、インフルエンザによる死亡数の約2,900人を上回る数となっています。出典：令和6年(2024)人口動態統計(確定数)



接種対象者

- 1 65歳以上の方**
- 2 60～64歳で**
心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり身の周りの生活を極度に制限される方。
- 3 60～64歳で**
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり日常生活がほとんど不可能な方。

接種できる期間 10月1日～翌年3月31日

注) 自治体によって実施期間が異なる場合があるため、詳細は、お住まいの市町村(特別区を含む。以下同じ)にお問い合わせください。

使用するワクチン

薬事承認で得られた有効性・安全性の知見を踏まえて、審議会(厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会)で評価し、定期接種において使用できることとしたものとして、以下のメーカーのワクチンが接種可能です。医療機関によって接種できるワクチンが異なる場合があるため、詳細は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

〈今年度の定期接種で可以使用できるワクチン〉 順不同

mRNAワクチン	組換えタンパクワクチン
・ファイザー社・モデルナ社・第一三共社 ・Meiji Seikaファルマ社(レプリコンワクチン※)	・武田薬品社

各ワクチンの特性等の詳細についてはこちら：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa.html

※レプリコンワクチンについて

レプリコンワクチンはmRNAワクチンの一つで、接種されたmRNAが細胞内で一時的に複製されるように設計されています。他のmRNAワクチンに比べてウイルスのタンパク質が作られる時間が長く、より強く免疫が誘導され、抗体の持続期間が長いことが確認されています。mRNAの複製は一時的なものであり、無限にウイルスのタンパク質が作られることはなく、これまでに、レプリコンワクチンを受けた方から他の方にワクチンの成分が伝播するという科学的知見はありません。

他のワクチンとの同時接種

新型コロナワクチンは、インフルエンザワクチンや帯状疱疹ワクチン、高齢者に対する肺炎球菌ワクチンと同時接種が可能です。



ワクチンの効果

- 新型コロナワクチンは、有効性や安全性が確認された上で薬事承認されており、さらに、国内外で実施された研究において、新型コロナによる入院などの重症化を予防する効果が報告されています。
- 2024/25シーズン(令和6年秋冬の接種)において用いられたJN.1系統対応ワクチンの効果として、新型コロナウイルス感染症による入院を約45～70%程度予防した等の報告が国内外でなされています。

出典：VERSUS Study第12報(2025)、MMWR.2025;74:73-82、Nat Commun. 2025;16:4033

ワクチンの安全性

各社のワクチンについて、以下のような副反応が報告されています。また、頻度は不明ですが、重大な副反応として、mRNAワクチンについては、ショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎、が知られており、組換えタンパクワクチンについては、ショック、アナフィラキシーが知られています。

発現割合	症状				
	ファイザー社	モデルナ社	第一三共社	Meiji Seikaファルマ社	武田薬品社
50%以上	痛み※1、疲労、頭痛	痛み※1、疲労、頭痛	痛み※1、倦怠感	痛み※1	痛み※1、疲労、筋肉痛、頭痛
10%以上 50%未満	筋肉痛、悪寒、関節痛、発熱、下痢、腫れ※1	筋肉痛、悪寒、関節痛、吐き気・嘔吐、リンパ節の腫れや痛み、発熱、腫れ※1、しこり※1、赤み※1	熱感※1、腫れ※1、赤み※1、かゆみ※1、しこり※1、頭痛、発熱、筋肉痛	倦怠感、頭痛、悪寒、筋肉痛、関節痛、発熱、めまい、腫れ※1、しこり※1、赤み※1	倦怠感、関節痛、吐き気・嘔吐
1%以上 10%未満	赤み※1、リンパ節の腫れや痛み、嘔吐、疼痛	痛み※2、腫れ※2、赤み等※2	赤み※2、腫れ※2、かゆみ※2、熱感※2、しこり※2、痛み※2、リンパ節の腫れや痛み、発疹、腋の痛み	かゆみ※1、下痢、吐き気、嘔吐	腫れ※1、しこり※1、赤み※1、発熱、四肢痛

各社の添付文書より厚労省において作成 ※1 ワクチンを接種した部位の症状 ※2 接種後7日以降のワクチンを接種した部位の症状

定期接種を受ける方法・費用

- 定期接種はお住まいの(住民票のある)市町村(特別区を含む)で実施されます。
- 接種を受ける場所や費用についての詳細はお住まいの市町村にお問い合わせください。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

制度の利用を申し込むときは、予防接種を受けたときに住民票を登録していた市町村にご相談ください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

